



# 六甲山魅力再発見市民セミナー

市民セミナーVol.19  
六甲山のシダ植物  
/鈴木 武  
2004年10月発行

## 第19回テーマ： 六甲山のシダ植物



記念碑台の石垣でシダの観察

### 講演内容

- ①シダ植物とは？
- ②六甲山のふもとのシダ植物
- ③実際に見てみよう

(現地観察)

実施日：平成16年10月16日(土)  
午後1時～4時  
場 所：六甲山自然保護センター内  
レクチャールーム



講師：鈴木 武さん

### プロフィール

1962年生まれ  
東京大学大学院理学系研究科博士過程単位取得退学。1993年より、兵庫県立人と自然の博物館研究員。

### 秋なのに春みたいな六甲山

六甲山は度重なる台風で、塩害の影響を受けていました。木々は所々で落葉して新芽を出したり、山桜が花を咲かせていました。もみじの紅葉もあまり見られず、秋というのに春のような季節感で例年のない異様な状態でした。

### 笑顔ニコニコで解説される鈴木さん

講師の鈴木武さんは、県立人と自然の博物館の研究員で、絶滅危惧植物の保全やシダ植物研究を専門とされています。たくさんのシダ植物のスライドや標本、更に携行用の資料を配布され、シダの基本的な知識や各種の特徴を解説していただきました。シダ植物はあまり馴染みがないと思いますが、実は街中でも意外と見ることが出来ることを知りました。シダの精密な構造や分類に感心し、「これもシダ植物だったのか。」と驚きの声もありました。鈴木さんは優しい口調で、細かいところまで丁寧に教えて下さいました。



たくさんのシダをスライドで紹介

主催：六甲山自然保護センターを活用する会  
後援：兵庫県神戸県民局 兵庫県立人と自然の博物館  
灘区役所 神戸市教育委員会

### 現地観察では22種を確認

講演で得た知識をもとに、野外観察をしました。自然保護センターを出て最初の石垣で5種類を見つけ、葉の裏を見たりルーペで胞子を確かめたりしました。観察途中に珍しいシダにも出会い、約1時間の観察で22種類のシダ植物を目にすることが出来ました。その後の交流会でもシダについての話は更に続き、有意義な時間を過ごしました。シダ植物の見分けは、なかなか難しかったのですが、関心を持ついいきっかけとなりました。

※詳しくは1～2ページをお読みください。  
会員の尾崎さんにレポートをしていただきました。

### 参加の感想 北山 健一郎さん

中学生時代に生物教室で教わった時の頃を懐かしく思い出させてくれました。

鈴木先生は、平易な語り口で大変分かり易く、且つ写真をラミネートした立派な資料をセットして頂きました。

実習編では、実際に自生しているシダを手にとってみて、更に親しみが実感として伝わって参りました。

日常何気なく見過ごしていたシダに注意力を持って見る眼が開かれたことを嬉しく思います。



### 【助成金をいただいている機関】

灘区「地域力を高める」事業、ひょうご環境保全創造活動、コープこうべ環境基金、コベルコ自然環境保全基金